



管内経済情勢報告

～中国地方の経済情勢について～

令和2年10月
財務省 中国財務局

(令和2年10月28日公表)

【お問い合わせ先】

中国財務局経済調査課(田中、上園)

電話 (082) 221-9221(代表)


(082) 223-3038(直通)

Fax (082) 221-3845

<http://chugoku.mof.go.jp/>

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、
 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる」









項目	前回（2年7月判断）	今回（2年10月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	

（注）2年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、ドラッグストア販売やホームセンター販売が好調であるなど、緩やかに持ち直している。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、輸送機械が増加しているなど、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。

【各項目の判断】

項目	前回（2年7月判断）	今回（2年10月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	
設備投資	2年度は前年度を上回る見込み	2年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	2年度は減益見込み	2年度は減益見込み	
企業の景況感	「下降」超幅は拡大	「下降」超幅は縮小	
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	
輸出	前年を下回る	前年を下回る	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

コンビニエンスストア販売は食料品などが、百貨店販売は衣料品などが低調であり、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも低調であり、前年を下回っている。ドラッグストア販売は食料品などが、ホームセンター販売はDIY用具・素材などが、家電販売は白物家電などが好調であり、前年を上回っている。これらのことなどから、個人消費は、全体では、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

（主なヒアリング結果）

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、オフィス街や観光地を中心に来店客数が減少しており、弁当や揚げ物などが低調に推移した。足下では、Go To トラベル事業の実施を契機として、観光地周辺の店舗の来店客数は持ち直している。（コンビニエンスストア）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、催事の中止などで来店客数の前年割れが続いたことから、衣料品や食料品などが低調となった。足下では、海外ブランド製品などの高額品が好調に推移しているほか、感染予防対策に取り組んだうえで開催した催事が好調となるなど、持ち直しの動きがみられる。（百貨店）
- 新型コロナウイルス感染症の影響による来店客数の減少やメーカーの生産調整から、販売台数が減少した。足下では、来店客数は戻っているほか、メーカーの生産調整の影響もほぼ解消しており、持ち直しつつある。（自動車販売）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、感染予防対策商品への需要の増加から来店客数が増加しており、アルコール消毒製品やついで買いの食料品などが好調に推移している。（ドラッグストア）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅時間の増加で家の改修を目的とした木材・塗料や工具などが好調だったほか、特別定額給付金の効果もあり家具なども好調となった。（ホームセンター）
- 新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛で家の中を充実させる動きに加え、特別定額給付金の効果が重なり、洗濯機や有機ELテレビなどが好調に推移した。（家電量販店）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、肉食や備蓄需要の増加が続いており、生鮮食品や冷凍食品などが好調に推移している。また、プチ贅沢品として価格の高い肉や刺身なども好調に推移している。（スーパー）

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる」

輸送機械は、海外向けで需要が持ち直していることなどから、増加している。汎用・生産用・業務用機械は、企業の設備投資に慎重な姿勢がみられることなどから、減少している。化学、鉄鋼、電気機械は、このところ自動車向けで増加している。このように、生産活動は、全体では、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の生産水準には戻っていないものの、海外向けで需要が持ち直していることなどから、生産台数が増加している。（自動車）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、企業が設備投資に慎重になっており、新規受注を獲得できなくなっている。（生産用機械）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、需要が減少していることから全体的に生産は低調であるものの、自動車向けの生産が徐々に回復してきている。（化学）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、鋼材需要が減少していることから生産水準は低いものの、このところ自動車向けの需要が増加しており、生産が徐々に回復してきている。（鉄鋼）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、車載向けの生産が大きく減少していたものの、国内外の自動車メーカーが工場の稼働率を引き上げたことから、生産水準が回復してきている。（電気機械）

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

有効求人倍率が低下しているほか、新規求人数も減少するなど、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上の大半を占める宴会需要がゼロになるなど、業務量が減少しており、従業員が過剰気味となっている。（宿泊）
- 新卒採用予定人数は例年と変わらないが、応募者数が増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでの売り手市場とは状況が変わってきた。（生産用機械）
- 来年の新卒採用は新型コロナウイルス感染症の影響のため見送ることとした。（小売）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、生産量が低下していることから、雇用調整助成金を活用しながら週1日の休業を継続している。（非鉄金属）

■ **設備投資** 「2年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年7～9月期

- 製造業では、「情報通信機械」、「化学」などで減少するものの、「石油・石炭」、「その他製造」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「運輸・郵便」、「小売」などで減少するものの、「金融・保険」、「宿泊・飲食サービス」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 定期修理を行う。(石油・石炭)
- 営業店の建替えを行う。(金融・保険)

■ **企業収益** 「2年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年7～9月期

- 製造業では、「その他製造」、「電気機械」などで増益となるものの、「情報通信機械」、「化学」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「小売」、「建設」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超幅は縮小」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年7～9月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が縮小している。なお、先行きも「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅、持家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ **輸出** 「前年を下回る」

- 管内通関実績(円ベース)でみると、輸出は、自動車、鉄鋼などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、西欧、アジアなどで減少している。
 なお、輸入は、原油及び粗油、石炭などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、中東、アジアなどで減少している。

3. 各県の総括判断

	前回(2年7月判断)	今回(2年10月判断)	前回比較	総括判断の要点
鳥取県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる		個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
島根県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、明るい兆しがみられる		個人消費は感染症の影響が残るものの明るい兆しがみられており、生産活動は一部に下げ止まりの兆しがみられるものの弱めの動きとなっている。また、雇用情勢は改善が続いてきたが感染症の影響がみられる。
岡山県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、持ち直しの動きがみられる。生産活動は、足下では一部に持ち直しに向けた動きがみられるものの、弱い動きとなっている。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられ、弱含んでいる。
広島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。
山口県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる。

管内経済情勢報告

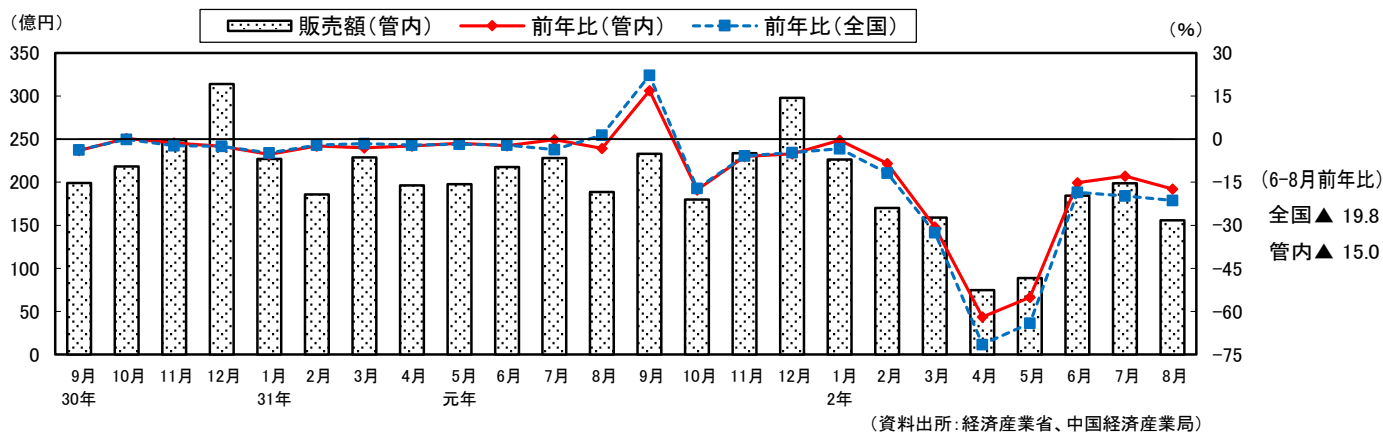
(令和2年10月)

資料編

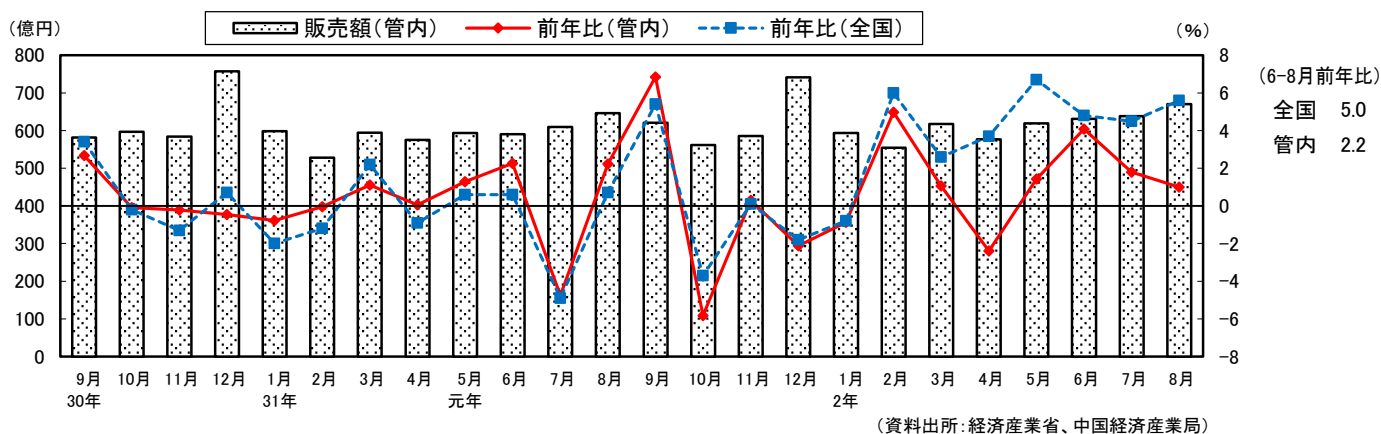
	目次	ページ
1.	個人消費	----- 1
2.	生産活動	----- 3
3.	雇用情勢	----- 4
4.	設備投資	----- 5
5.	企業収益	----- 6
6.	企業の景況感	----- 6
7.	住宅建設	----- 6
8.	輸出	----- 7

1. 個人消費 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している

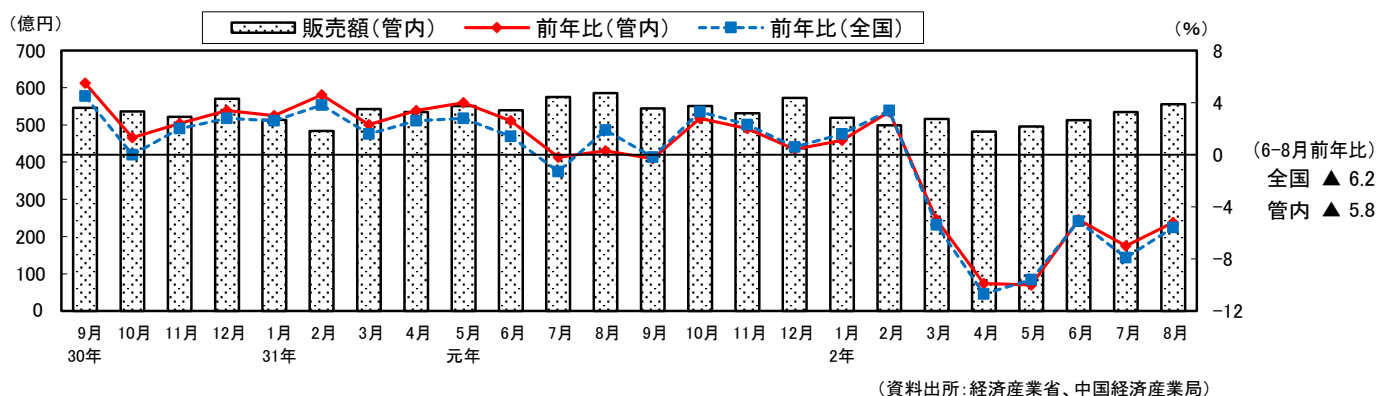
(1) 百貨店販売額(全店舗)



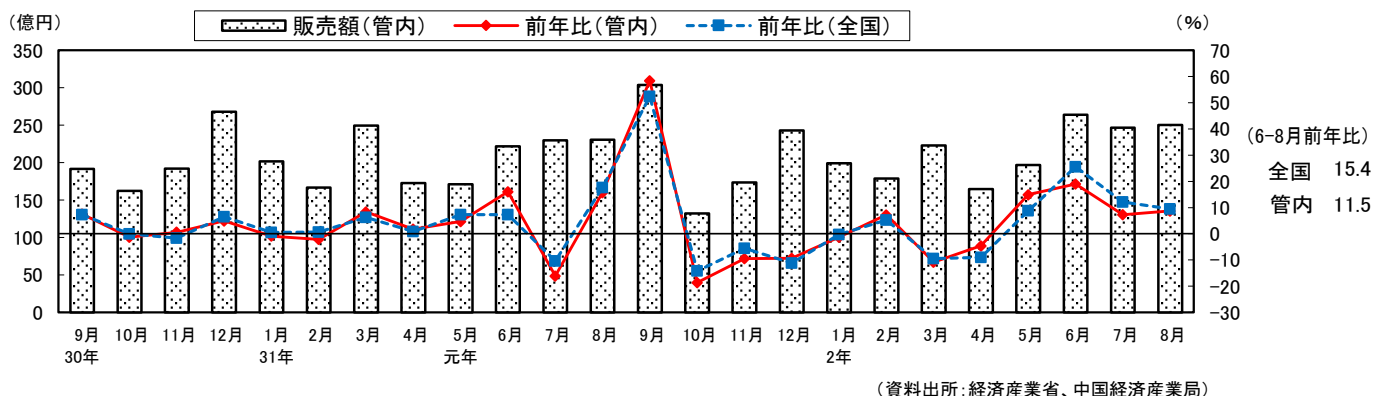
(2) スーパー販売額(全店舗)



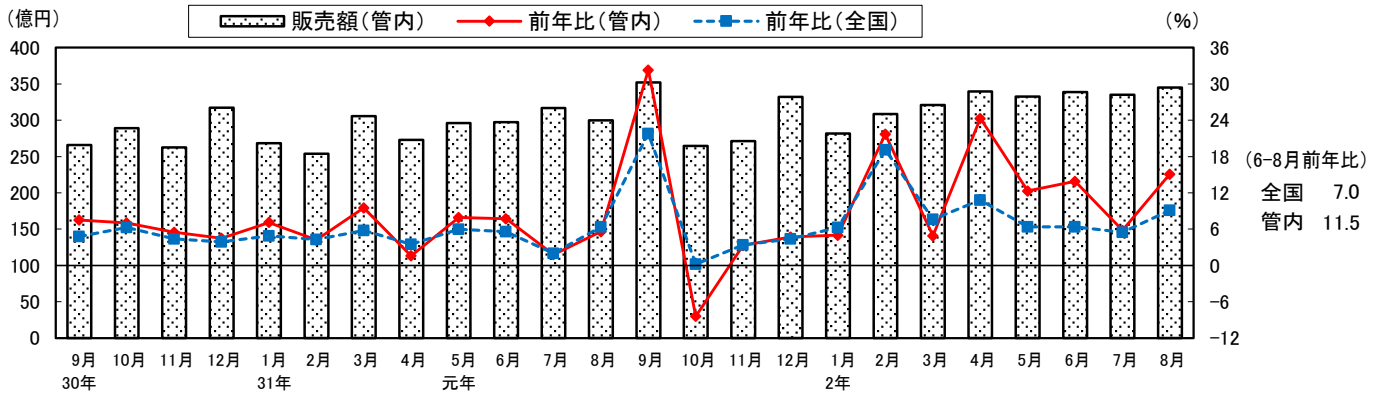
(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)

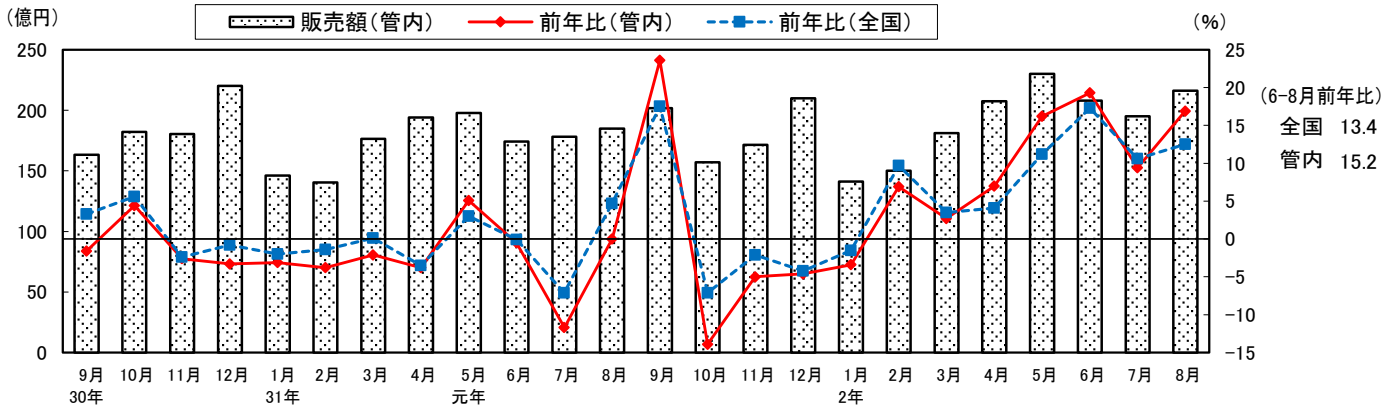


(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



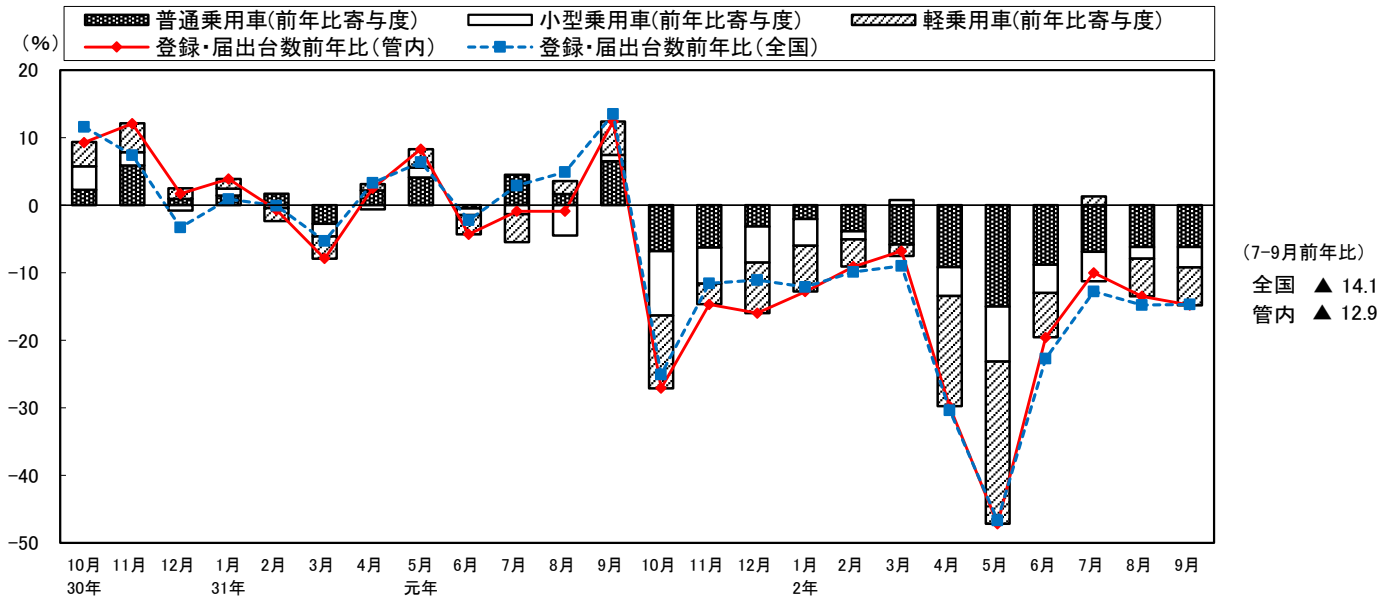
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

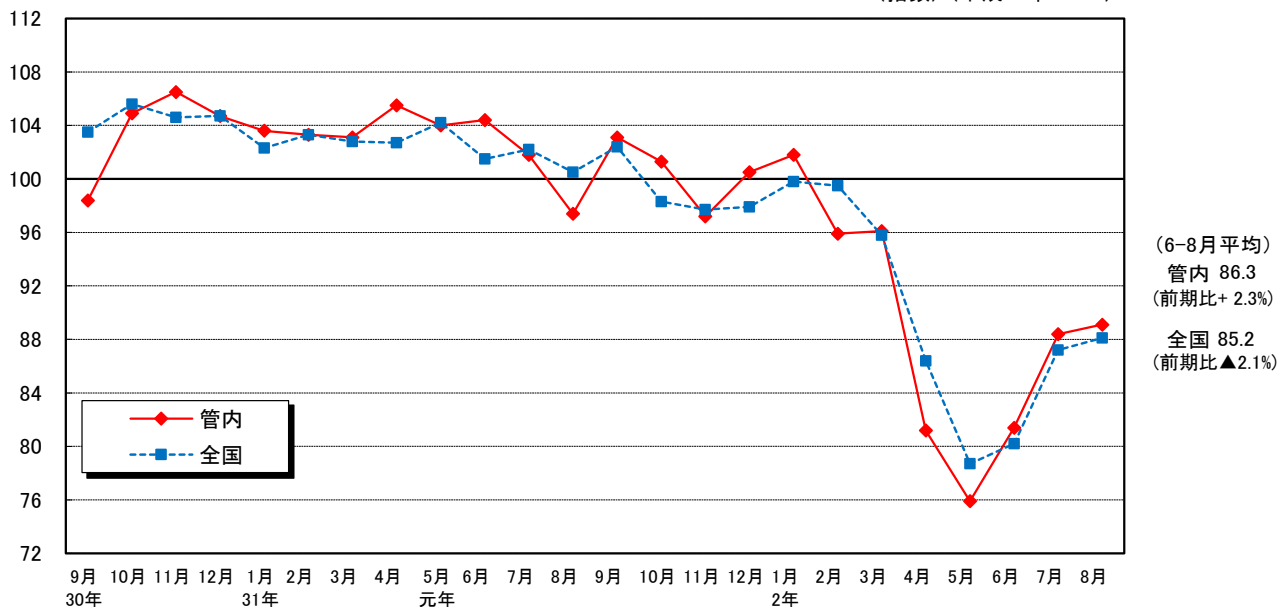


(資料出所: 中国運輸局)

2. 生産活動 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

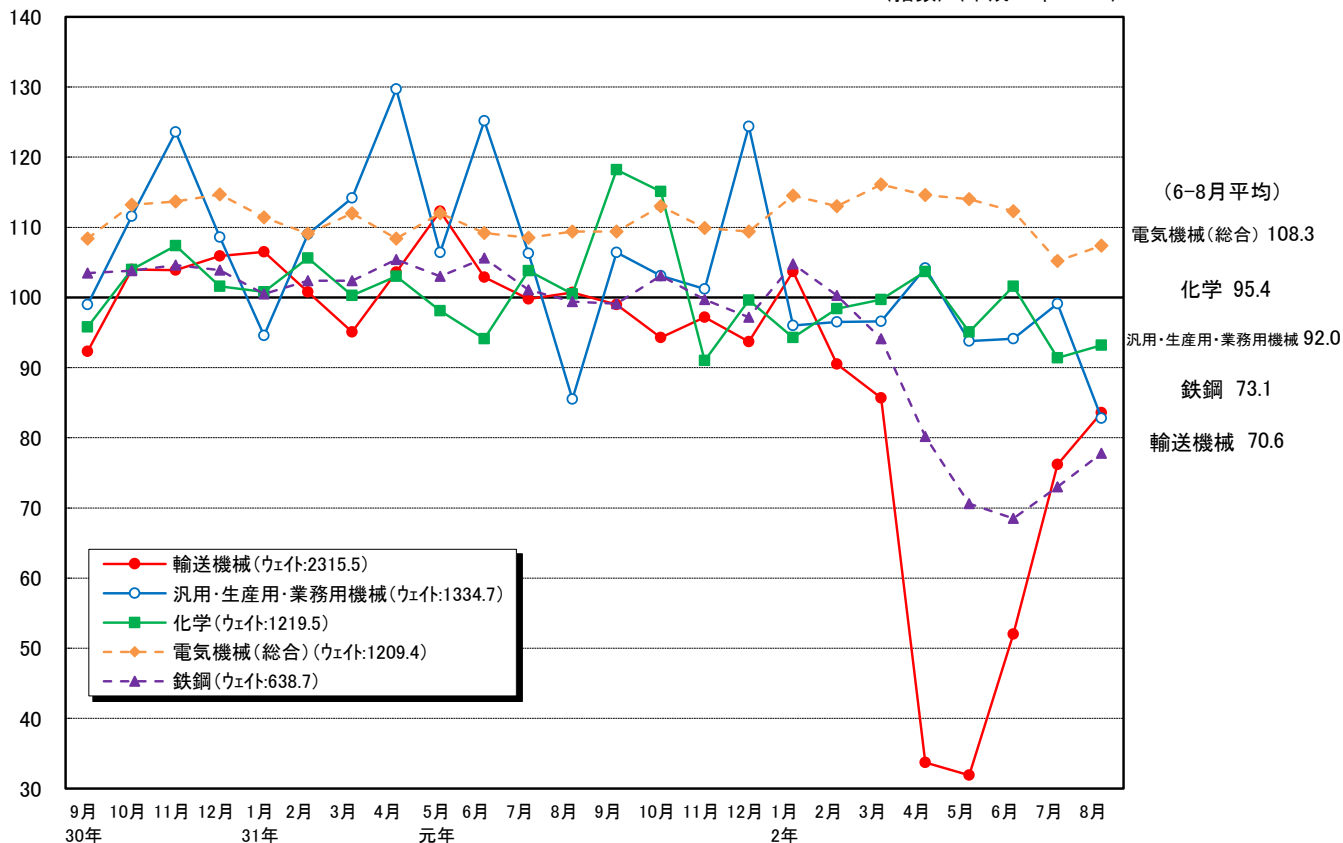
(指数) (平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(2) 管内主要業種別生産指数(季節調整値)

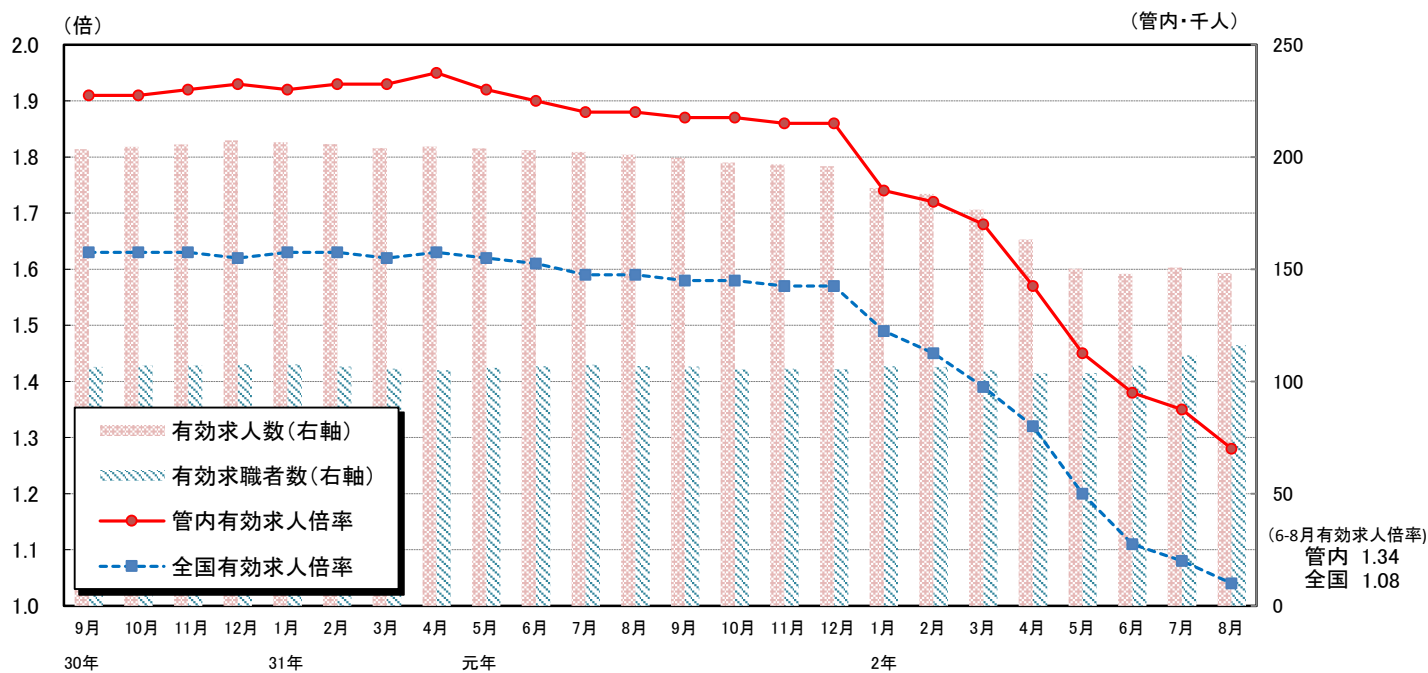
(指数) (平成27年=100)



(資料出所: 中国経済産業局)

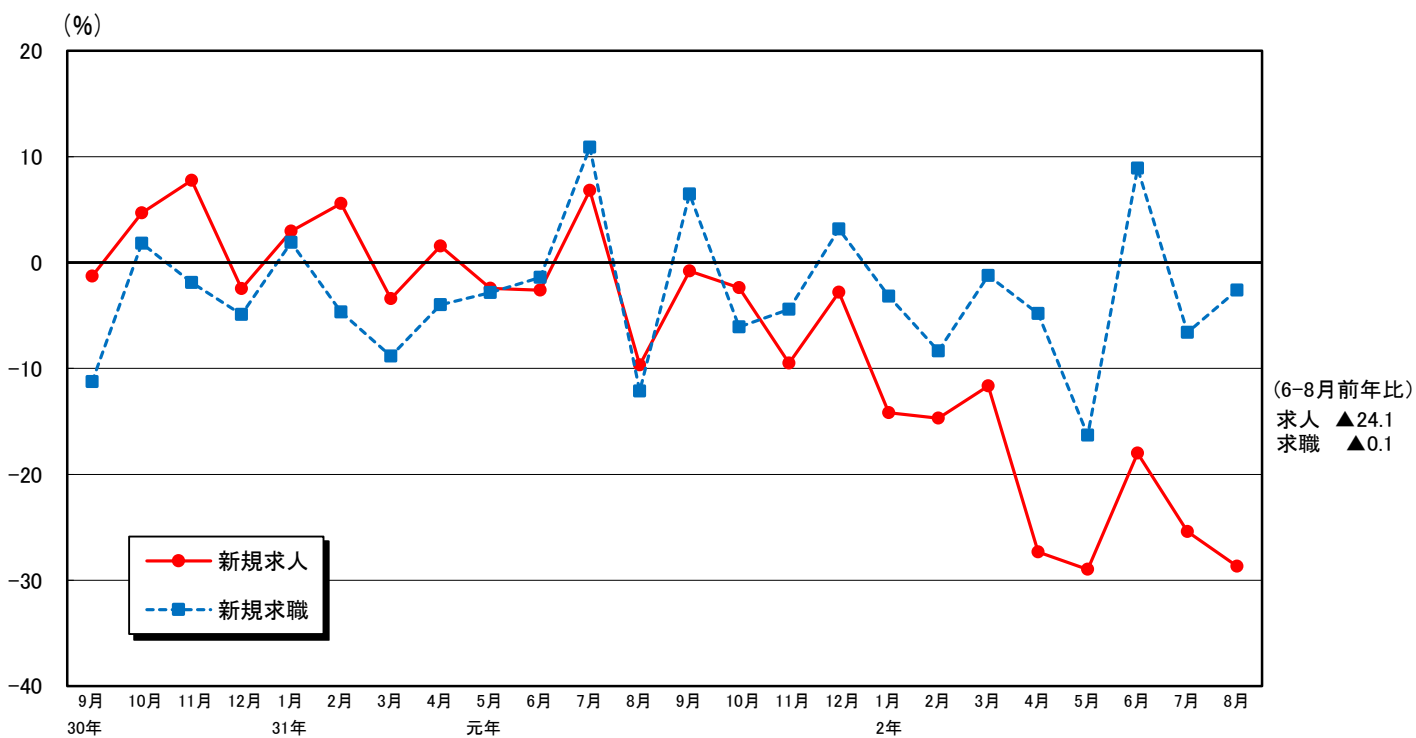
3. 雇用情勢 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる

(1) 有効求人倍率、有効求人人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省)

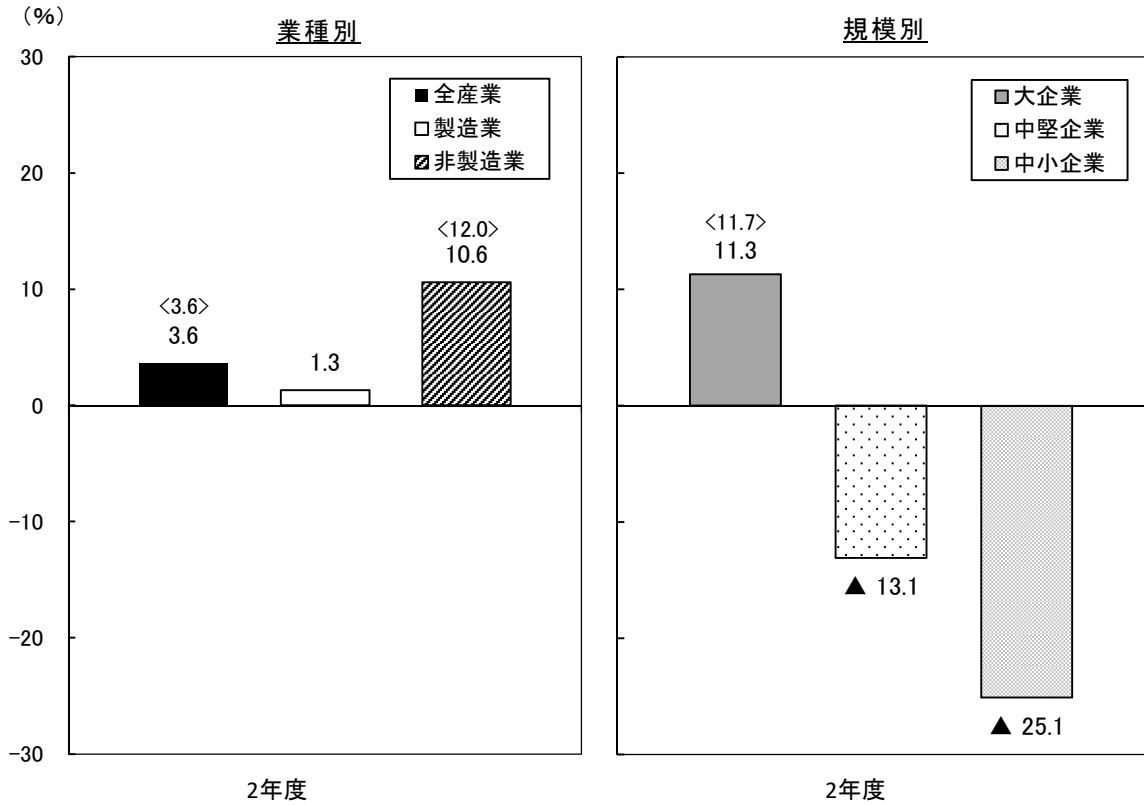
(2) 管内新規求人人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所:厚生労働省)

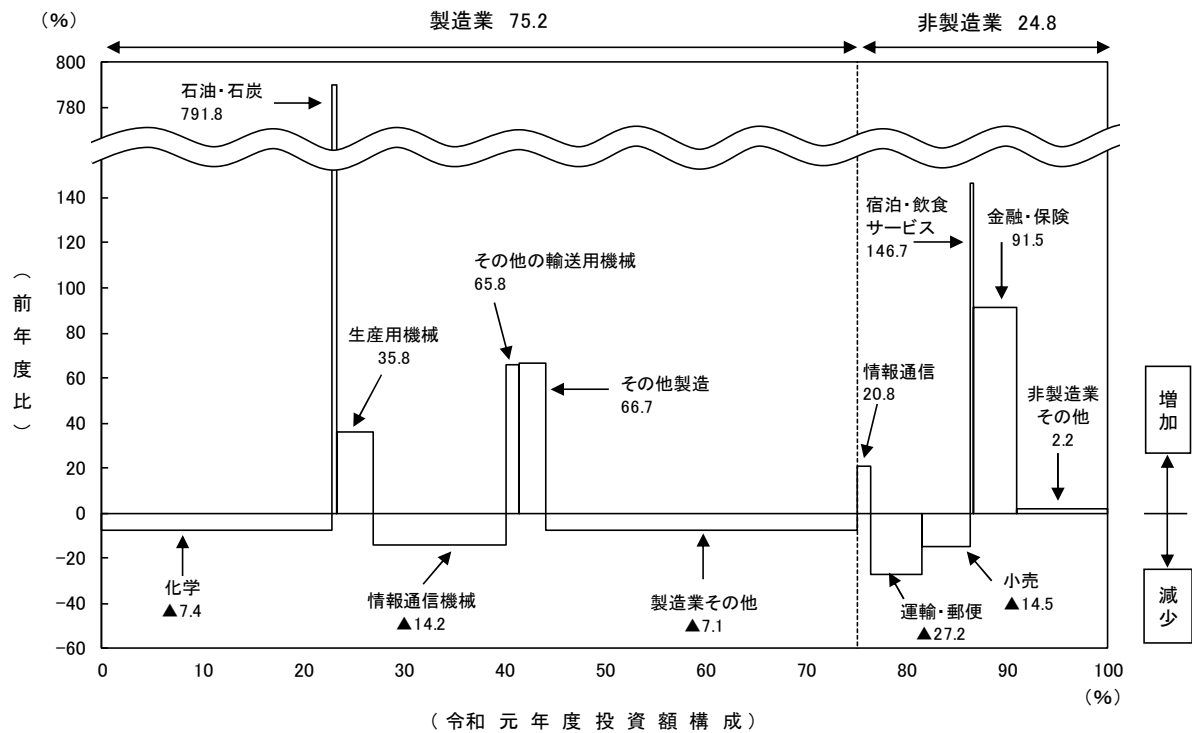
4. 設備投資 2年度は前年度を上回る見込み

(1) 設備投資額(前年度比)



〈 〉書きは電気・ガス・水道業を除く前年度比

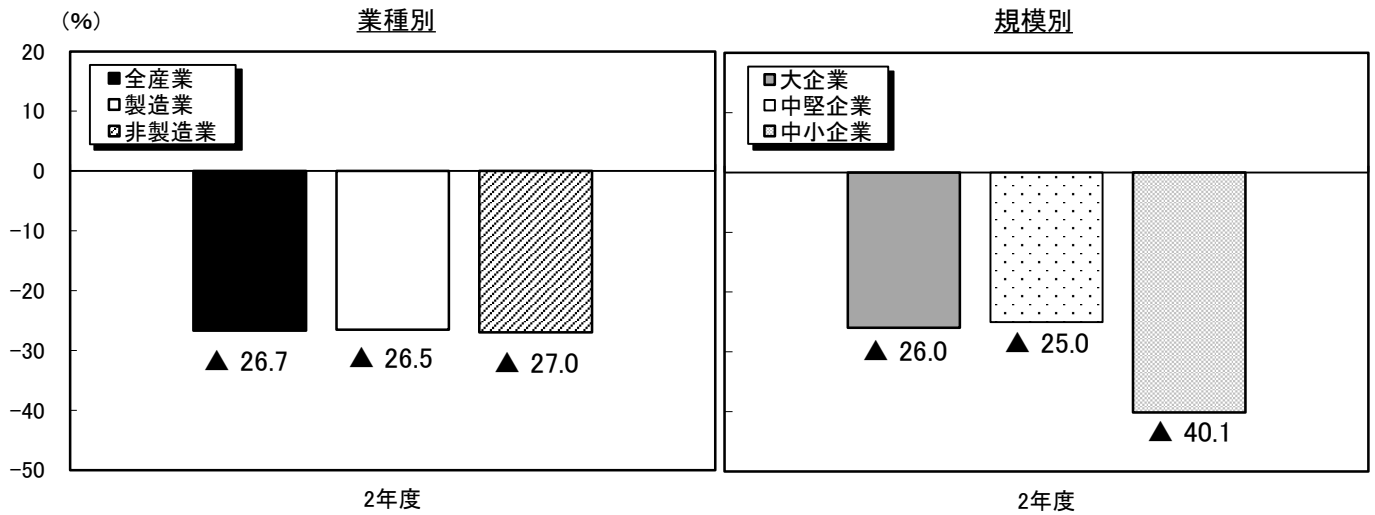
(2) 主要業種別(2年度)



(資料出所:中国財務局)

5. 企業収益 2年度は減益見込み

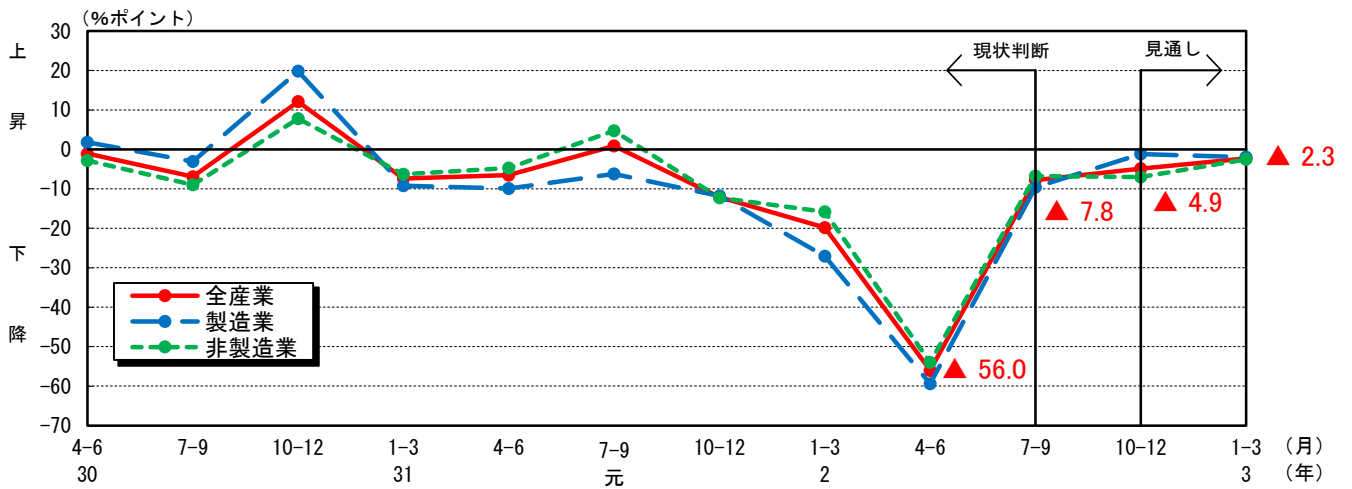
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く:前年度比)



(資料出所:中国財務局)

6. 企業の景況感 「下降」超幅は縮小

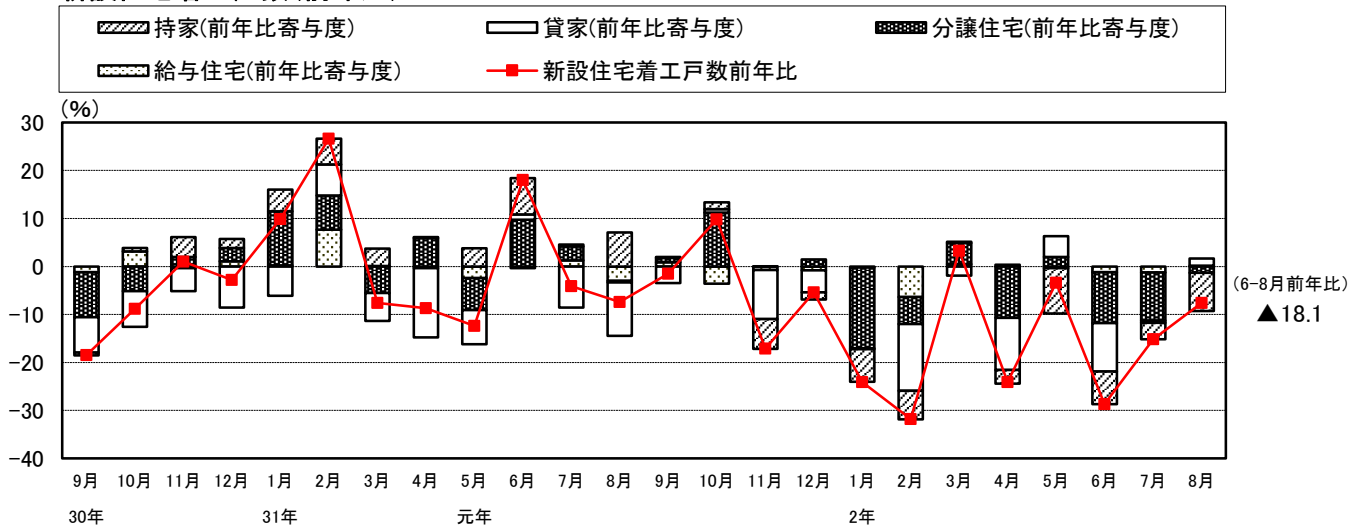
景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所:中国財務局)

7. 住宅建設 前年を下回る

新設住宅着工戸数(前年比)

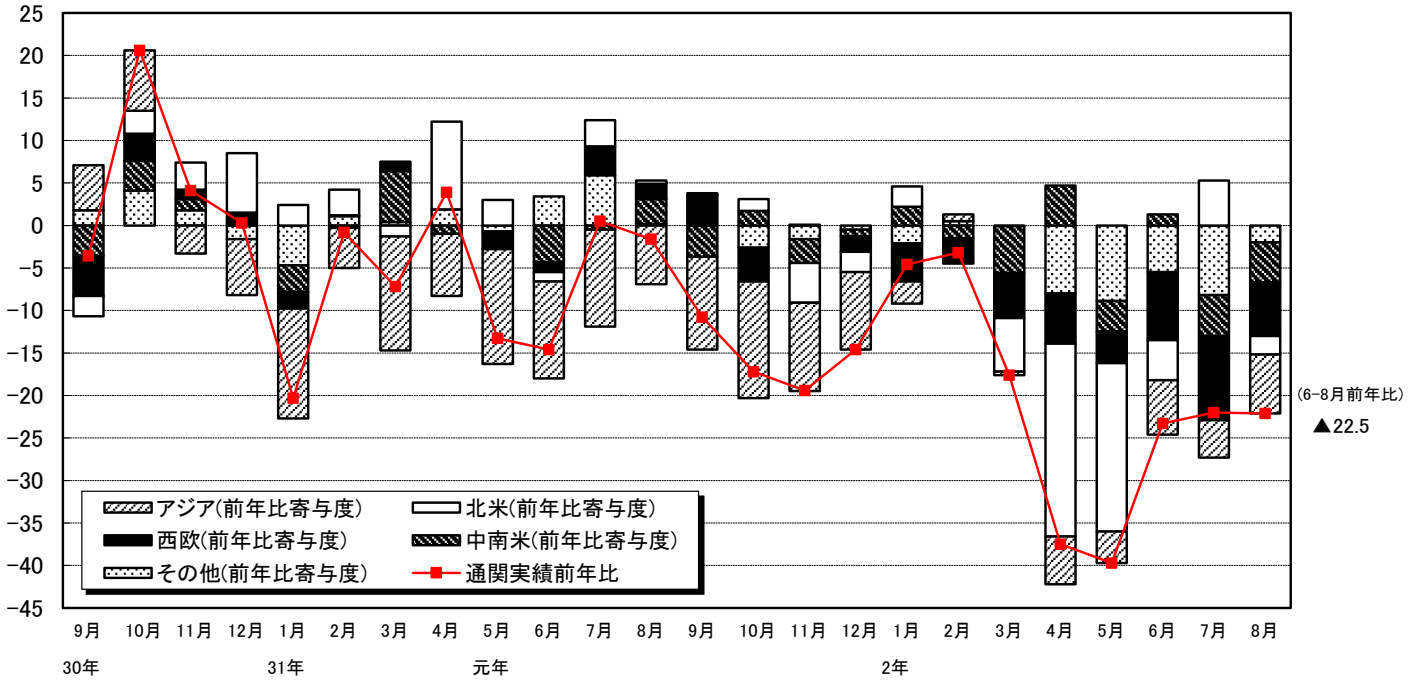


(資料出所:国土交通省)

8. 輸出 前年を下回る

輸出(円ベース)

(%)

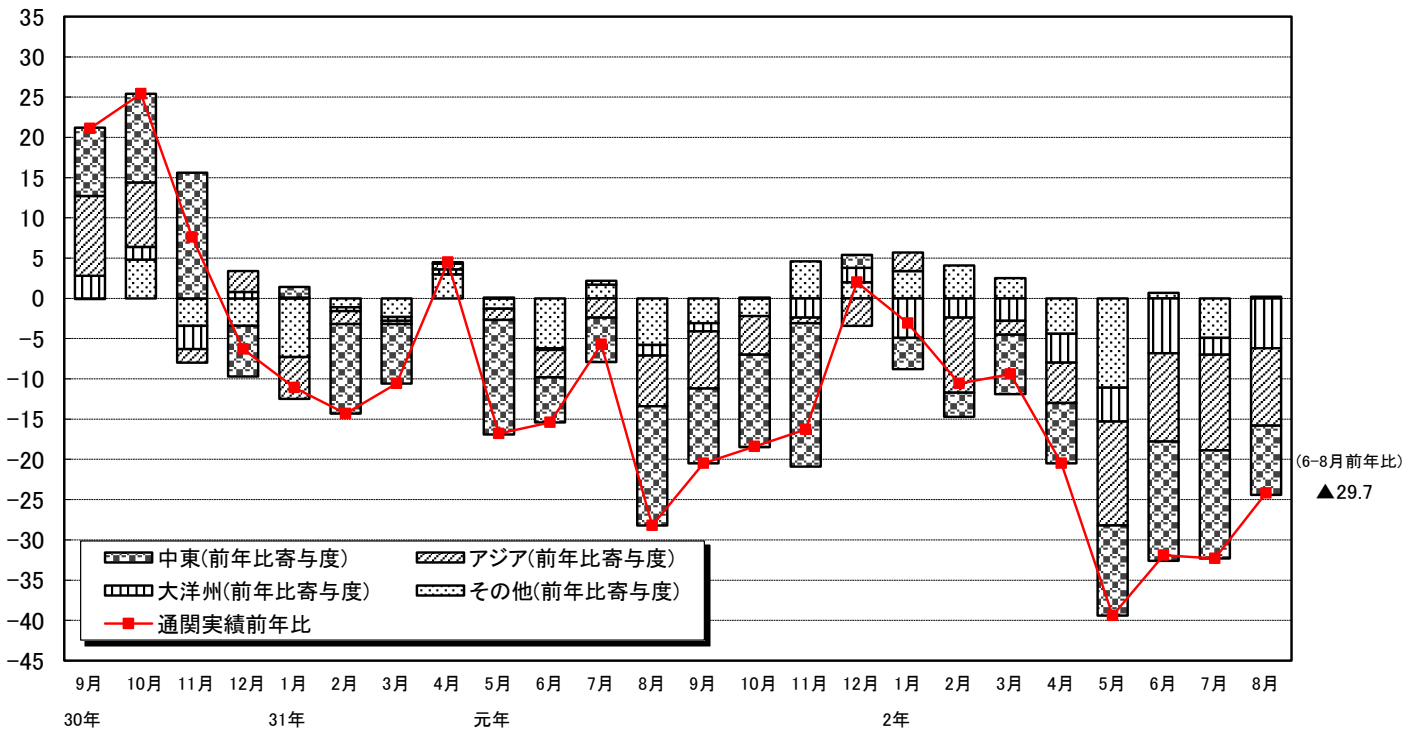


(資料出所: 神戸税関、門司税関)

<参考>

輸入(円ベース)

(%)



(資料出所: 神戸税関、門司税関)